

あなただけの「何か」が
きっと見つかる



2024年度学校案内

ワレトピア学びの森

宮崎県立

五ヶ瀬中等教育学校



部活動

中高一貫校だからこそ1年生から
6年生まで**継続した練習**ができます。

児童・保護者向け 地区別学校説明会

- 6月22日(土) 五ヶ瀬会場：本校
- 7月27日(土) 宮崎会場：宮崎市中央公民館
- 7月30日(火) 高鍋会場：高鍋総合庁舎
- 7月30日(火) 日向会場：大王谷コミュニティセンター
- 7月31日(水) 小林会場：小林中央公民館
- 7月31日(水) 延岡会場：延岡市社会教育センター
- 8月1日(木) 都城会場：早水体育文化センター
- 8月2日(金) 日南会場：小村寿太郎記念館

オープンスクール
8月31日(土)
五ヶ瀬中等教育学校
参加申込は別途案内を
小学校に配布します。
併せてホームページ
でもお知らせします。



本校へのアクセス

宮崎から車で約2時間15分
延岡から車で約1時間
都城から車で約3時間
(上記は高速道路を利用した場合)
熊本空港から車で約1時間20分
※延岡からバスを利用することもできます。



▼本校 HP ▼生徒会 HP



学びの森

6:30

7:00

7:55

8:55

12:05

13:05

16:30

起床

朝食
点呼

朝読書
登校

午前の授業

休憩
昼食

午後の授業

部活動など



こだま寮女子寮長、倉本佳詩野です。

五ヶ瀬に来たとき、はじめは自然豊かだけど何も無い場所だと感じました。

ですがこだま寮で暮らしている内にその考え方は一変しました。こだま寮は自分で洗濯や掃除をしたりして、自分のことは自分でできるようになります。

また、寮では中学1年生から高校3年生までの異学年と一緒に生活することによって、礼儀やコミュニケーション能力など、社会で必要な能力がたくさん身につきます。

五ヶ瀬は何もないと感じる人には何も無いで終わるかもしれませんが、ですが自分次第で五ヶ瀬に対しての見方はどこまでも変化すると思います。その見方が変わったときにはじめて五ヶ瀬での生活が価値あるものに変化すると思います。是非こだま寮でたくさんの知識や能力を身につけてきませんか？

日向市立大王谷小学校出身



こだま寮男子寮長、川内馨です。

こだま寮は周りに大きなショッピングセンターがあるような環境ではありません。しかし、このような環境だからこそ同じ寮に住む仲間とのコミュニケーションが重要になり、周りの人と深く繋がることの重要性に気付くことができます。また、対話を通し寮運営や寮生活をしていくことで自分自身の成長に繋がります。

日向市立大王谷小学校出身

このような普通の中学生・高校生ではできない貴重な経験は必ず今後の自分のためになり、進路実現に向けた己の武器になると思います。

こだま寮は、あなたに変わるためのチャンスを提供してくれる場であり、自分の道を探ることや夢を語ることができる場です。豊かな自然に囲まれ何事にも全力で挑戦できる最高のステージでそのチャンスを自分の成長に繋げてみませんか？

R5年度教養講座

～放課後の習い事～

- ・ロボットコンテスト
- ・学びの森ブッククラブ
- ・五ヶ瀬を動かせプロジェクト!
- ・書道
- ・English Conversation
- ・ザ・卓球プロ
- ・新時代のヤセイミ養成講座
- ・学びの森音楽隊
- ・デッサン基礎
- ・目指せ数学オリンピック! など

4月

5月

6月

7月

8月

9月

入学式 対面式
わらじ作り わらじ遠足

フォレストピクニック



生徒総会
定期考査 I

ブックトーク
夏季学習会



ホームステイ



定期考査 II



入寮式
マウンテンバイク指導

蜚狩り 寮生大会
教養講座 (年中行事)
テスト対策学習会



こだま杯
(スポーツ大会)



バーベキュー



の1日

18:00

19:30

20:10

21:05

21:30

22:30

洗濯
風呂
夕飯

学習①

学習②

点呼
清掃

学習③

消灯
就寝準備

こだま寮 Q&A



Q. 洗濯やアイロンがけはどうしたらいいですか？

A. 寮に入ったらすぐ、6年生の先輩が、洗濯やアイロンのかけかたをおしえてくれるよ。最初は戸惑うかもしれないけどすぐに上手にできるようになるよ！



Q. 寮行事ってなに？

A. 寮での生活を100%楽しむために季節ごとに設定されているイベントのことかな。蛍狩りや聖夜祭はまさしく五ヶ瀬を代表する行事で人気だよ。僕のお気に入りには断トツこだま杯！

Q. 休みの日は何をしていますか？



A. 友達と散歩に行ったり、町の人と話をしたり、アイスやお菓子を買いに出かけたり、時にはマウンテンバイクで遠出したり、釣りをしたり…なんでもできるのが五ヶ瀬の魅力だと思うよ！

Q. 体調が悪くなったら？



A. 寮母さん、ハウスマスター、宿直の先生がいて、いつでも助けしてくれるよ。体調だけじゃなく、ホームシックになったり友達と喧嘩して悩んだりした時にもみんな、よくお世話になってるなあ…

Q. 寮のごはんはおいしい？



A. 栄養教諭の先生が考えて、調理員さんたちが作ってくれるごはんはいつでもできたてホカホカでおいしいよ！好きなものばかりとはいかないけれどなんでも食べられるようになるからね。



Q. 学習①②③ってなに？

A. 前期生のうちは、集中力を高めて勉強の仕方を学ぶよ。①はそのための集団学習の時間。②は自室で勉強。③は学習をするか、読書や資格取得のための勉強をする子が多いかな。



10月

11月

12月

1月

2月

3月

ホームステイ
農村民泊

こだま杯
(スポーツ大会)

定期考査Ⅲ
グローバル
フォレストピア研修



6年生と語る会
寮生大会

ホームステイ
農村民泊

聖夜祭



スキー教室



ひし餅づくり
ファミリー給食

定期考査Ⅳ
雛飾り



卒業式
お別れ会

卒寮式



Digital×Real

2023～新時代の学び

Society5.0 に対する先端的な学び

Glocal

2019～地域との協働事業

Global

2014～SGH 事業

Local

1986～フォレストピア構想

中高一貫校

全国初の公立中高一貫校として、31年目になり、中高6年間を見通した独自のカリキュラムを編成。前期生は学校や寮の行事、部活動などで後期生との交流があるため、生活面、学習面に対する姿勢や、大学入試の情報を含む進路に対する高い意識など、様々な面で刺激を受けられる。また、高校の先生や後期生が、学校や寮で前期生に学習を教えることで、他の中学校ではまねできないような一貫教育を行っている。

少人数指導

生徒4～5人あたり1人の教職員が在籍。後期生になると20人学級となり、担任、副担任が其々担当し、さらにきめ細やかな少人数指導となる。5教科等の授業では、複数の教員または少人数授業を実施。高校3年生に当たる6年生から受験する大学に対応し、理系文系、私立文系等、個に応じた授業展開をする。また、夜は寮での学習時間を設け、教員による学習指導、様々な相談への対応等、個別最適化された丁寧な学びを実現。

各種資格取得に対する指導・取組の充実度と 資格取得率・表彰率の高さ

資格・表彰

- 令和5年度全国高等学校総合文化祭鹿児島大会出場 書道部門/美術部門
- 日本書院第28回全日本高校・大学書道展 漢字部 書道展賞
- 第64回大東文化大学全国書道展 全国書道高等学校協議会賞 特選
- 第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会席上揮毫大会 書道部門 第三席
- 第4回宮崎県総合美術展 絵画部門 大賞
- 令和5年度全国高等学校総合体育大会
- ・第73回全国高等学校スキー大会出場(後期スキー部)
- 令和5年度全国中学校体育大会
- ・第61回全国中学校スキー大会出場(前期スキー部)

- 日本地理学会2023年春季学術大会高校生ポスターセッション 理事長賞
- 愛媛大学社会共創コンテスト2023 準グランプリ
- 第67回日本学生科学賞 中学校個人研究の部 文部科学大臣賞
- 実用英語技能検定
- ・ブリティッシュカウンシル駐日代表賞 受賞
(英検取得率の極めて高い団体に贈られる賞)
- ・激励賞受賞(成績優秀団体に対して贈られる賞)
- ・令和5年度準1級取得者 3名
- 令和5年度第10回高校生直木賞選定校

海外研修

3年次のシンガポール研修では、現地フィールドワークや交流活動を通じて、幅広い視野や文化を越えた学びの姿勢、論理的に思考する力を身につけます!



シンガポール研修を終えて

今回の海外研修では、語学学習はもちろんのこと、ショッピングモールを訪れたり、2階建てバスに乗ったりして、多文化国家であるシンガポールならではの、多くの文化の違いを直接肌で感じることができ、とても貴重な体験ができた。

6日間という短い期間の中ではあったが、初めて訪れる土地で、初めて会う人々と、初めての体験をすることはとても楽しく、本当に多くのことが学べた。同時に、言語・文化・マナー・ルールなど、私にはまだまだ知らないことがたくさんあるということも知った。そして何より、シンガポールだけではなく、もっと色々な国の多様な文化や生活に触れてみたいと思った。いつか、シンガポール以外の国にも行って、自分自身の視野をもっと広げたい。

4年 阿萬 暖々果
西都市立妻北小学校出身



事前研修

- ・オンライン講義 (JICA九州)
- ・しおり作成 (現地情報の下調べ)
- ・研修に向けて英語発表資料作成

シンガポール研修

- ・JICA九州センター訪問、ワークショップ体験
- ・NUS(シンガポール国立大学)での講義受講
- ・JTBシンガポール支店(日系企業)訪問
- ・B&Sプログラム(現地学生との1日研修)など

I期 (1~2年次)

地域の自然と文化に触れ生命を支える農業や産業を学ぶ

Local.Connected

「実感する学び」

- ・稲作体験
- ・茶摘み体験
- ・命のつながり
- ・カヌー体験
- ・わらじ作り
- ・神社巡り
- ・石橋見学
- ・用水路見学
- ・畑作り
- ・ヤマメの採卵

II期 (3~4年次)

自己と社会を知り思考を深める
生まれた問いをより深いものへ

Global.Borderless

「越境する学び」

- ・GIAHSシンポジウム
- ・哲学対話
- ・G-TOK (知の理論)
- ・ポスター発表
- ・海外研修旅行 (シンガポール)

III期 (5~6年次)

探究を深め、探究の成果を発信する

Collaborative.Creative

「協働/協創する学び」

- ・留学生との英語ディスカッション
- ・論文作成
- ・英語プレゼンテーション
- ・国内研修旅行 (関西)

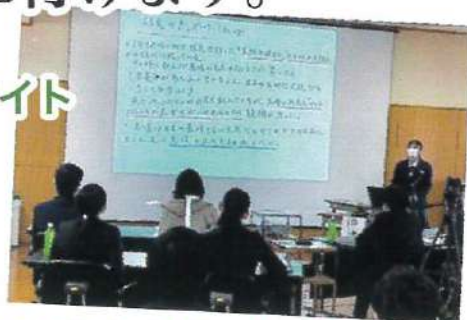
豊かな自然と ICT 教育で一人ひとりに感性と感動の学びを。

五ヶ瀬で過ごす 6 年間で Society5.0 時代に
求められる **5つの力** を身に付けます。



学びの森ポータルサイト

グローバルフォレストピア探究についての詳しい情報、活動内容、在校生の成果物発表の様子を掲載。



野性味あふれる価値創造人材へ!

県内外でも高い評価を受ける探究活動



グローバルフォレストピア探究では様々な体験から多くの学びを得ることができます。五ヶ瀬での自然体験を行いながら地域の大自然の魅力について知り、その経験を積み重ねて、そこでできた学びの「問い」というものを増やしていきます。

また、その「問い」をもつことがしっかりとした研究につながるということも、グローバルフォレストピア探究での大切なポイントです。1, 2年生の時の茶摘み体験やわらじ作り、鶏の解体などを通して、2年生最後の研究発表会で自分の研究を発表していきます。

2年間という短い間で多くの学びがありました。色々な体験から学び、そこから問いを生み出し研究を進めていく間で、考える力や好奇心、実行力など多くの力を付けることができました。



3年 法元 悠貴
西都市立徳北小学校出身

フォレストピア探究はただの探究活動ではなく、コミュニケーション能力や人間性も磨くことができる探究活動です。

地域の方や先生方とともに試行錯誤を繰り返しながら作り上げた課題研究を自分の言葉で説明する経験は、五ヶ瀬でしか得られないものを与えてくれます。

私は、大勢の人の前で発表する力を身に付け、さらに自分がどれほど普段周りの人に支えてもらっているのか気づくことができました。この五ヶ瀬という素晴らしい環境の中で得た力は、今後の私の人生をより豊かにするものであると確信しています。

真剣に向き合えば向き合うほど、フォレストピア探究が与えてくれるものの大きさに驚きます。

6年生になった今、フォレストピア探究に出会えてよかったと思います。



6年 清武 結莉
小林市立南小学校出身

グローバルフォレストピア探究

留学

毎年多くの生徒の留学を徹底サポート、今年度は留学センターも新たに設置！卒業生の中には、五ヶ瀬中等教育学校時代に経験した留学体験から刺激を受け、海外の大学に進学・留学した生徒も多数います。文科省事業「トビタテ！留学JAPAN」への派遣率は宮崎県1位。多くの留学プログラムにも、合格実績を出しています。

プログラム・支援団体	派遣生徒数	派遣国・交流国
トビタテ！留学JAPAN	23名	米国・英国・オーストラリア・オーストリア・カナダ・台湾・中国・ドイツ・フランス・マルタ・マレーシアほか
AIG高校生外交官プログラム	3名	アメリカ
TOMODACHI Hondaグローバルリーダーシッププログラム	1名	アメリカ
アンニョンハセヨ！少年少女国際交流・商工会労働部・観光経済交流局	2名	韓国
五ヶ瀬町人作り支援基金	2名	シンガポール
Nippon Scandinavia Sasakawa財団	3名	フィンランド
SGH海外研修・文部科学省	36名	アメリカ・インドネシア・モンゴル・バングラディシュ・フィンランド
短期・長期語学留学	7名	シンガポール・フィリピン・オーストラリア・アメリカなど
「宮崎県の教育グローバル化推進事業」短期派遣プログラム	4名	台湾

留学体験記

私は宮崎県の留学の事業で10日間ベトナムに行きました。県内の高校生20人とともに様々な体験活動やホームステイを経験しました。

首都・ハノイの名所を巡ったり、ホームステイではホストファミリーと一緒にベトナム料理を食べたり、ショッピングにも行きました。日本とは違う町並みや生活が毎日とても新鮮でした。現地の人たちとは英語でコミュニケーションを取ることが多く、最初は苦戦しました。自分の英語が簡単には通じないことに不安を持ちました。しかし、少ない時間の中で1人でも多くの現地の人と話そうという目標を立てて、恥ずかしがらずに多くの人に話しかけました。留学も初対面の人に話しかけるのもどちらもとても勇気のいることです。だけど失敗を恐れずに挑戦することは自分に自信をくれるきっかけになりました。留学準備においては多くの先生方がサポートしてくださるので安心して出発できますよ。みなさんも学校生活で唯一無二の思い出を作ってください。



延岡市立南方小学校出身
6年 甲斐 悠夏

G-Lab.



2024年度新規開設！

五ヶ瀬から世界に繋がるをモットーに、最新機器が勢揃い。

保護者の声

令和5年度
卒業生保護者

東原 擁慈

五ヶ瀬中等教育学校には、二女と三女の2人で11年間お世話になりました。

私の「五ヶ瀬」との最初の出会いは、卒業生2人と同じ職場で働いたことでした。この2人は、どちらも仕事を処理する能力とともにコミュニケーション能力が高く、加えて人を思いやる気持ちがすごく伝わってくるような人で、それがずっと心に残っていました。この出会いの数年後、娘たちが五ヶ瀬に行きたいと言いついた時は、寮で生活をさせることへの不安や傍にいない寂しさが大きかったのですが、親から提案されたわけでもなく、こうした選択することをとても心強く感じましたし、最初の出会いもあり、精一杯応援することにしました。

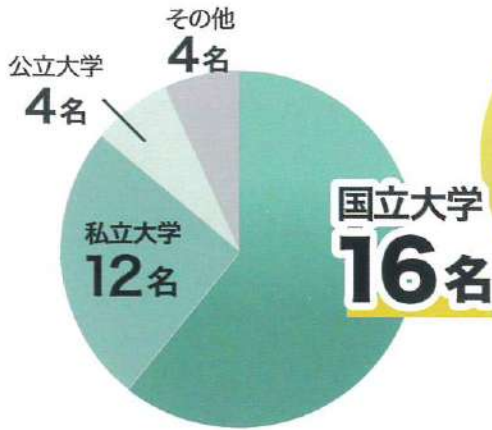
そして、振り返ってみますと11年間にはいろいろなことがあり、娘を寮に残して帰路に就く時、笑顔で手を振りながらも必死に涙をこらえた日もありましたが、子どもたちが大きく成長しただけでなく、親も成長できた11年間となりました。現代社会は、スマホ一つあればネットを通じて、どこでも、誰とも繋がり、なんでもできる一方で、これから子どもたちが歩いていく未来は、生成AIなどの登場により、いままですべて人間としての力が問われる社会となるといわれています。

そして、人間力は、バーチャルではなくリアルで、人とのふれあいを含めて、どれだけ自分の五感を使った経験をしたかが大きく影響するともいわれています。だからこそ、時には厳しい自然と温かい地域の皆様にも包まれた中、ICT環境を充実させつつもリアルなコミュニケーションを大切に、「グローバルフォレストピア探究」や近隣の5町村等と共同で進める「共学共創コミュニティ (GIAHS Co-Learning Community)」なども通じて、真の「生きる力」や「人間力」を育成する、他にはない五ヶ瀬の教育が、ますます重要になると実感しています。

是非、五ヶ瀬中等教育学校に集い、未来を切り拓く人材として、大きく成長していく子どもを応援しながら、親としても大きく成長しましょう！

生活すべてが**学び**、自然すべてが**教室**、あなただけの**未来**を。

一人ひとりの夢を実現したい。 あなただけの夢の約束。



令和5年度卒業
国公立大学等進学

20 / 36名!

希望する志望校を目指して
1人1人に担当教員がつき
受験までをサポート!



卒業生の主な進学先一覧 (令和元年度～令和5年度)

国公立大学

東京(文Ⅲ)/東京工業(物質理工学院)/大阪(文学・基礎工学)/神戸(理・経営)/九州(法・芸工・共創・理・歯)/宮崎(医4名)/筑波(人文文化・芸術専門群・理工・人間学群)/千葉大(文)/電気通信(情報理工)/東京外国語(国際社会・言語文化)/横浜国立(経営)/岡山(医放)/広島(工・教育・理・総科)/九州工業(情報工学)/熊本(医看・法)/鹿児島(法文・歯・工・医保)/横浜国立(国際教養)/大阪公立(生命科学)/神戸市外国語(外国語)

私立大学

早稲田(文)/慶応義塾(環境情報)/東京理科(理・創域理工)/明治(文・法・政治経済・工)/立教(理・社会)/同志社(法)/立命館(法・政策科学)/福岡(法・理・経済・商)

その他

防衛大学校/海上保安大学校/海上保安学校/宮崎県警察/九州職業能力開発大学校自衛隊一般曹候補/中原大学(台湾)/Deakin University(オーストラリア)/Tallinn University of Technology(エストニア)/Vilnius University(リトアニア)



学びの森で私は、かけがえのない6年間を過ごすことができました。寮での共同生活では意見や習慣などの違いから思うようにいかないこともありましたが、その「違い」は、自分にとって新しい視点や思考をもたらす学びとなりました。

宮崎大学医学部 黒木 海音 (令和5年度卒)

6年間一緒に過ごした仲間とは、励まし合い、学びあい、時にはぶつかり合いながら共に成長し、お互いを思いやる心を育んできました。また、五ヶ瀬では携帯を持つことができない分、人と人が向き合って会話をする時間がたくさんあります。大学という少し広い世界に出てみて、勉強だけではなく、そういった人間力の大切さを実感しています。五ヶ瀬には、五感を使った体験により多彩な感性を磨くフォレストピア探求や課題研究など、生徒が自ら考え行動できる機会がたくさんあります。学びの森でのこれら全ての経験が、私の財産となっていることに間違いありません。多様な視点を持ちたい、さまざまなことにチャレンジしてみたい、そういった方は、ぜひ学びの森で有意義な時間を過ごしてください。



大阪大学文学部 坂元 最 (令和5年度卒)

こうしたことは、五ヶ瀬という環境だからこそできることだったと、卒業してからしみじみと実感しています。もちろんですが、五ヶ瀬での生活は修学旅行と違い、楽しいことばかりではなく、辛いこと、苦しいことがたくさんあります。私自身、何度も挫折しそうになりました。しかし、卒業した時思ったことは、もっとここにいたいということでした。あなたも、五ヶ瀬で本当の学びをしてみませんか。

五ヶ瀬での6年間は、学校での勉強という枠を超えた、様々なことを学べた6年でした。五ヶ瀬に入学したとき、先生方からよく言われた言葉として、「ここでは毎日が修学旅行みたいなものだから。」という言葉があります。

私は、その言葉の意味は、同級生をはじめ仲間達と共同生活を送る楽しさだと思っていました。しかし、五ヶ瀬での6年間の学びを通して実感したことは、その言葉の本当の意味は教室の中だけでは学べないことをたくさん学ぶことができるということだったのだ、ということです。6年間、何回も真夜中まで同級生と意見をぶつけ合いました。何回も部活のチームメイトと、寮でバスケの戦術について話し合ったりしました。

ファミリー制度

パパ・ママ
教

息子・娘
(兄弟・姉妹)

6 5 4
3 2 1

6年間、同じファミリーで過ごします。先輩方はお兄ちゃん・お姉ちゃん、後輩は弟・妹、同級生が2人いるファミリーにおいては「双子」と呼ばれます。定期的に「ファミ会」が開かれ、ファミリーの親睦を深めていきます。学校生活に悩みはつきもの。勉強も友人関係もファミリーの兄・姉がアドバイスとサポートを行います。

